

## どうする臨床研修先 第二弾

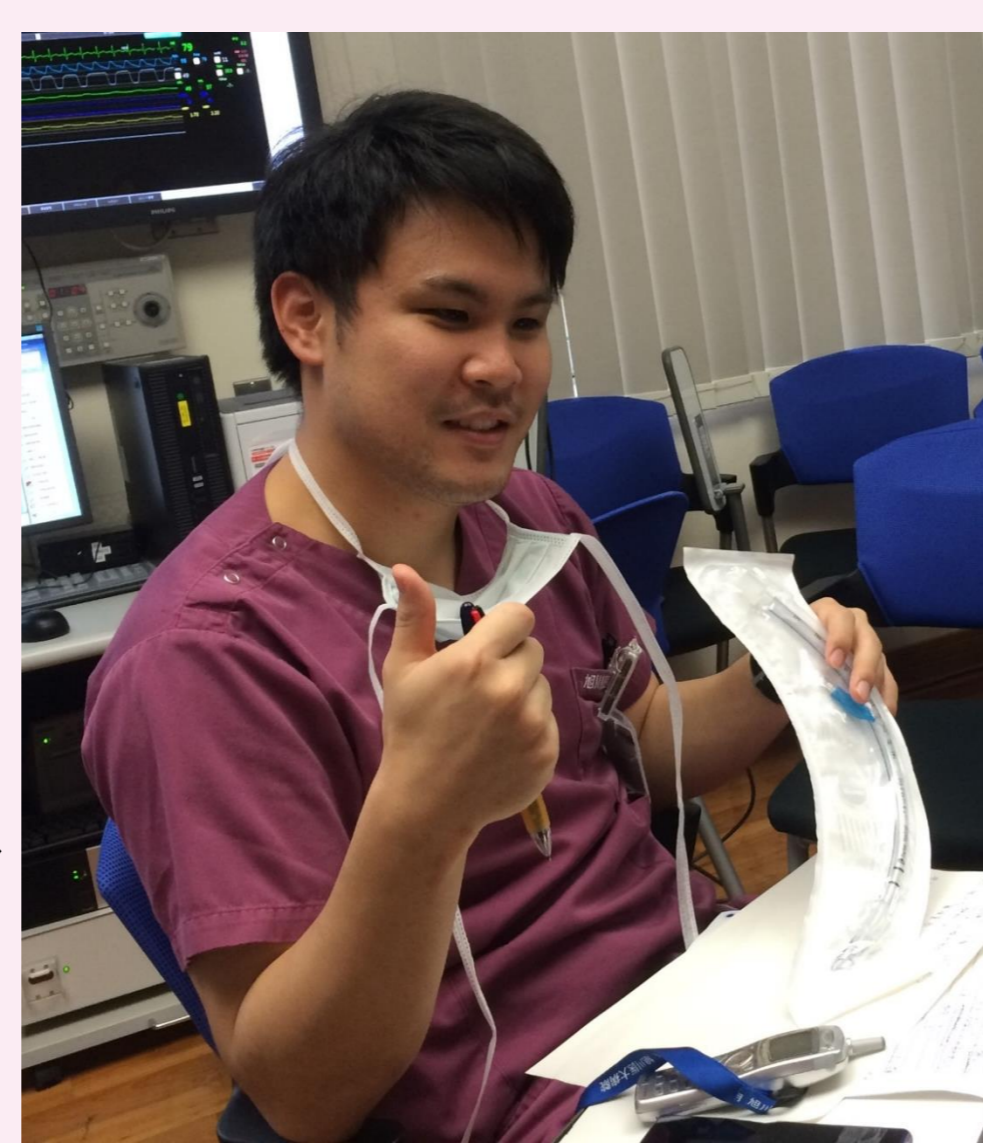
### Point1 実際の声

#### Case1 初期研修 2ヶ月目 水谷先生



麻酔科で研修すると気管挿管、ルート確保などの手技が上手になり、全身管理の基本がわかるようになります。  
麻酔科の先生方が皆丁寧に教えてくれます。休憩中にある麻酔科待機室には差し入れがいっぱいです。  
土日は基本的にフリーで自分の時間に割り当てられます。ただ、今まで研修した病棟業務とは全く違うので慣れるまではちょっと大変です。  
麻酔が落ち着くと一人でいる時間があり、少し不安に思うこともあります。

#### Case2 初期研修 2ヶ月目 菊地先生



私は、将来腎泌尿器外科への入局を決めています。今回、医師として病棟での急変時に必須なマスク換気や気管挿管などの手技を学びたいと思い、麻酔科での研修を選びました。実際、毎日2,3例の症例を担当させて頂き、一日一日と自分の手技が向上していくのがわかり、とても充実した研修生活を送れていると思います。  
また、麻酔管理の面から手術をみると、どんなに簡単で時間の短い手術でも、管理が困難な症例もあり、麻酔科の先生方が患者さんの苦痛を和らげつつ、安全な手術を行えるように術中、術前に様々な工夫をしているということが改めて実感できました。将来外科系を目指す身としては貴重な体験です。  
医局の雰囲気も良く、優しくそして熱心に指導して下さる先生方ばかりなので働く環境としてもとても満足しています。

### Point3 麻酔科専門医になるために

2015年から制度が変更  
→麻酔科専門医となるためには初期研修終了後4年以上プログラム研修制度で指定の研修が必要です。

#### <麻酔科専門医取得に必要な症例数>

→旭川医大での研修なら経験可能!!

小児(6歳未満)の麻酔	25 症例
帝王切開術の麻酔	10 症例
心臓血管手術の麻酔	25 症例 (胸部大動脈手術を含む)
胸部外科手術の麻酔	25 症例
脳神経外科手術の麻酔	25 症例

#### <麻酔科関連領域専門医>

- 麻酔科専門医
- 麻酔科指導医
- 蘇生学会指導者
- 航空医療学会認定指導者
- 心臓麻酔専門医
- ペインクリニック専門医
- 集中治療専門医
- 救急専門医
- JB POT

NBE : National Board of Echocardiography

EDRA : European Diploma in Regional Anaesthesia & Pain Therapy

### Point4 麻酔科の取り組み ~For 後期研修医:麻酔科専攻医~

## 専門スキルの習得

#### <心臓麻酔>

日本で最多の心臓麻酔専門医を有し、他施設からも研修者の多い、旭医麻酔科の花形

#### <静脈麻酔>

何かと話題の静脈麻酔薬。適切な知識と技術があれば患者さんにとって有害なことは起こしません!!

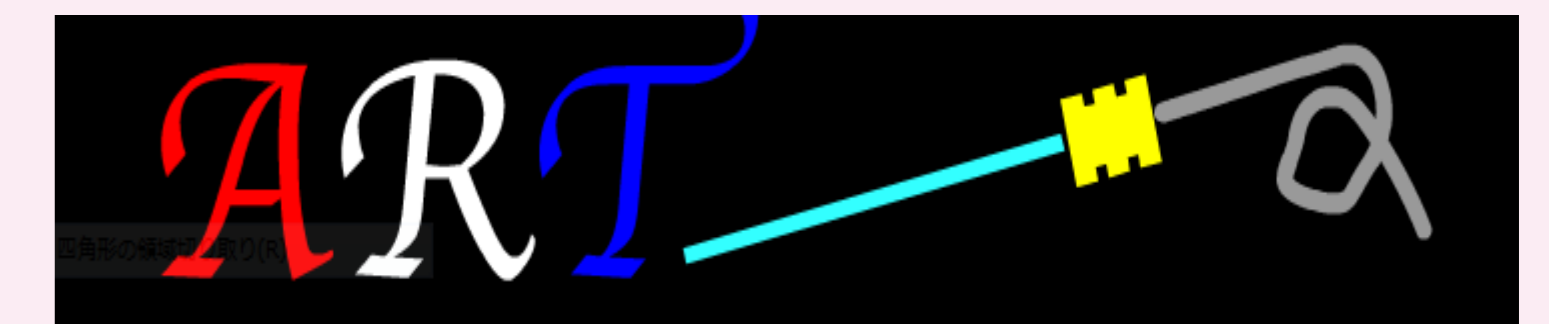


#### <気道管理>

麻酔科医の得意分野。急変時の対応でも必須なA(気道)の扱い方を学べます

#### <末梢神経ブロック>

いまや術後鎮痛のスタンダード。旭医は日本のブロック界を牽引中。学会インストラクター多し!!



#### <筋弛緩>

前教授の専門分野。臨床・基礎ともに研究して海外学会に行こう!

#### <ペインクリニック>

日々痛みの患者さんと真摯に向き合っています。毎日、ペインクリニック外来、診療中です。

### Point2 麻酔科の取り組み ~For 初期研修医~

## プラチナタイムの実践



~プラチナタイムとは~  
死亡事故リスクの高い全身麻酔時の導入を急変対応の場と考え、事故回避のために必要なスキルを学ぶ1例あたり5~10分程度しか体験できない貴重な時間のこと!

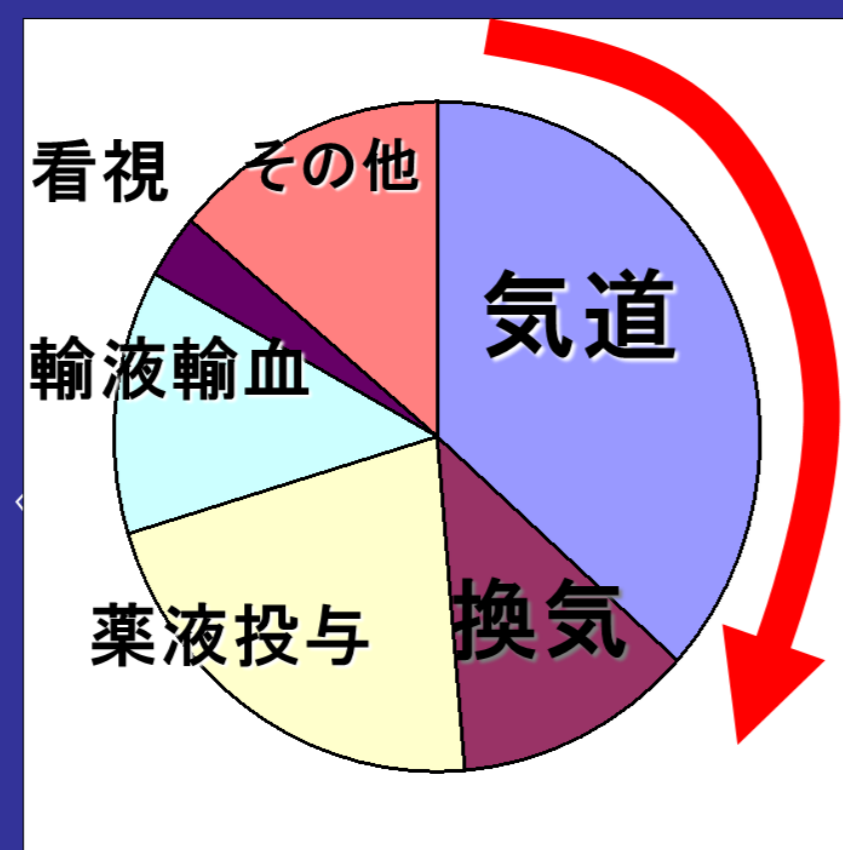
#### 麻酔関連死亡の解析

麻酔関連偶発調査1999-2002(麻酔53, 2004)

麻酔管理が原因

心停止 183例

死亡 40例



死亡原因: 気道呼吸トラブルが多い!

\*麻酔科初期研修の目標として\*  
プラチナタイムを有効活用し自分のテクニカルスキル(ルート確保、マスク換気、気管挿管 etc.)とノンテクニカルスキル(コメディカルへの適切な指示、患者の状態把握 etc.)を育みながらチーム医療を実践できることを掲げ、研修終了時には自信を持って急変対応ができます。

#### <Option: 充実した勤務環境>

→働きやすい環境整備のため麻酔科では以下のことが保証されております!!

- ①当直明けは午後フリー: 夜中にどんな手術があっても、翌日午後は完全フリー
- ②学会支援が充実: 国内、国外学会参加へは”科”を上げてサポートします!!
- ③資格取得支援も充実: アメリカ・ヨーロッパでの海外ワークショップへの参加も支援!!



アメリカ麻酔学会 in ニューオーリンズ

高い専門性を有しつつ、人材豊富で教育熱心な麻酔科で  
研修してみませんか??